のぞいてみよう！除雪の裏側　児童が体験

3月1日（水）に地元の赤坂小学校の5年生児童15名が、総合学習の一環として阿賀町にある安田除雪ステーションにおいて除雪作業の体験学習をしました。

児童は今年の降雪状況について説明を受けた後、パネルやビデオを見てどのように除雪を行うのかを学習しました。その後、実際に除雪車によるデモンストレーションを行いました。除雪グレーダやロータリ除雪車の除雪を近くで見学し、力強い除雪車の動きに歓声を上げていました。

また、凍結防止剤を散布車両へ投入する現場を見学したり、実際に除雪車両の運転席に搭乗し運転手の視線でどのように見えるのかを体験しました。

児童からは、「除雪機械の値段はいくら？」「一番よく使う機械は何？」「なぜ道路に塩をまいているの？」「一日に使用する塩化ナトリウムの量はどれだけ？」などの質問があり、普段わからない除雪の裏側を学習しました。

最後に、凍結防止剤の凝固点降下(※)を利用しアイスキャンディを作って食べました。子供たちにとっては、これが一番うれしかったようです。

その他にも今回の体験では、道路の維持管理や阿賀野警察署からの交通安全に関する講話など、除雪以外の勉強も行いました。

今回の体験学習を通じて、子供達に少しでも道路除雪や維持管理の重要性について理解していただけたのではないかと思います。

（※)凝固点降下･･･凍る温度を凝固点と言い、例えば水は0度で凍るが凍結防止剤を散布することにより、0度より低い気温で凍るようになる。このように凍る温度が下がることを「凝固点降下」と言う。

除雪機械のデモンストレーション

凍結防止剤を使ってのアイスキャンディ作り

編集・発行・お問い合わせ
国土交通省　北陸地方整備局　新潟国道事務所　計画課
電話 025-244-2159（代表）　〒950-0912　新潟県新潟市中央区南笹口2-1-65
E-MAIL：niikoku@hrr.mlit.go.jp　みちナビ新潟：http://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/index.html
にいこく　検索

新潟伊勢丹で「萬代橋130周年写真展」を開催！

2月28日（火）から3月7日（火）まで、新潟伊勢丹にて「萬代橋130周年写真展」が行われました。

今回の写真展は、新潟伊勢丹が33周年を迎え、「これからも萬代橋のように末永く愛されるようなお店であり続けたい」とのことから、萬代橋130周年事業実行委員会とのコラボレーションで実施されたものです。新潟国道事務所として、パネル展で出展している萬代橋歴史パネルも紹介されました。

担当者として、3月4日（土）に様子を見に伊勢丹に訪れたところ、店内を歩くお客様の中にふと立ち止まって萬代橋のパネルを見ている方がいらっしゃいました。興味深そうに見ていたのが印象に残ります。

新潟伊勢丹のように沢山の方が訪れるところで萬代橋のパネルを紹介できたことは、大変嬉しく思います。

新潟国道事務所では、ご依頼があれば、どこでもいつでもパネルをお貸しし、展示します。

また、市民の方は新潟国道事務所でも常時パネルを紹介していますのでお気軽にお立ち寄りください。

店内案内看板です

展示の様子

道の駅「庭園の郷 保内」がオープンしました

平成29年3月25日に道の駅「庭園の郷 保内」が新潟県内39番目の「道の駅」としてオープンしました。

道の駅「庭園の郷 保内」は、国内で有名な保内地区の庭木・植木産業における核として、地域イメージの定着と魅力の情報発信拠点として機能します。

当日は新潟国道事務所長をはじめ、三条市長ほか関係者と地元小学生が参加したオープニングアトラクションが行われたほか、地元保育園児によるお遊戯などが行われました。

また、昨年道の駅としてオープンした「燕三条地場産センター」では、道の駅オープン1周年を祝うイベントが25、26日に催されました。周辺7箇所の道の駅が連携して人気商品を販売する「にいがた道の駅フェスタ」が開かれ、大勢の来客でにぎわいました。

これからのドライブシーズン、「庭園の郷 保内」で新緑を楽しみ、そして「燕三条地場産センター」で金属加工技術を感じに訪れてみてはいかがでしょうか。

オープニングセレモニーの様子

「にいがた道の駅フェスタ」の様子

国道8号「春まちフェスタフェスタin南区」を開催しました

平成29年3月26日新潟市南区の国道8号上で「春まちフェスタフェスタin南区」を開催しました。

このイベント、平成30年度に予定されている白根バイパスの全線開通により、現在の国道8号の環境が大きく変化することから、道路空間のあり方や、有効活用の方法をさぐる目的で行われました。

当日は、当初見込みの3千人規模の想定を大きく超える約1万2千人（主催者発表）の来場者があり、普段歩くことの出来ない車道上で地元グルメやステージイベントなどを楽しんでいました。

このイベントを通して、区民をはじめ多くの方が「道路について考え、地域の賑わいを考える」きっかけづくりができたものと思います。

イベントの様子

イベントの様子

新潟国道ブースの様子

萬代橋130周年事業が終わります

3月21日（火）メディアシップにて、第二回萬代橋130周年事業実行委員会が開催され、全ての事業が完了し、その実施報告が行われました。

この事業は、初代萬代橋が架橋されてから、昨年11月4日で130年を迎えたことを機に、萬代橋が新潟の発展に果たしてきた役割を振り返り、今後の新潟の街づくりについて考えるきっかけとすることと、三代目萬代橋が87年という長寿を迎え、今後も適切なメンテナンスをし、大切に使っていただきたいということを伝えるために行われたものです。

8月以降、フォトコンテスト、シンポジウム、パネル展などの実施や、萬代橋誕生祭など関連イベントへの後援などを実施し、3月24日（金）には記念誌「萬代橋～未来に紡ぐ130年物語～」が新潟日報社から発刊されて、この130周年事業は全て完了しました。

実行委員会では、実行委員長の大江新潟国道事務所長が、「ミズベリング、新潟港開港150周年、オリンピックに繋がる事業だったと思う。記念事業自体は終わるが、これからも各団体と連携して萬代橋を核として様々な取り組みをしていきたい」と、事業を総括しました。

萬代橋は、10年先も、100年先も、きっと新潟の街にとって欠かすことのできないインフラであり、「未来を紡ぐ萬代橋」であり続けるよう、市民の皆さんと共に萬代橋を守って行きたいと思います。

今後とも萬代橋をどうぞよろしくお願いいたします。

実行委員会の様子

今年の春はサクラを愛でながらやすらぎ堤で萬代橋を見てみませんか